

2018年6月12日

アサヒグループホールディングス株式会社
代表取締役社長兼 CEO 小路明善様

ノンアルコールビール入りペットボトル容器についての質問書

容器包装の3Rを進める全国ネットワーク
代表：運営委員長 須田 春海
担当：副運営委員長 中井八千代

前略

私たち、容器包装の3Rを進める全国ネットワークは、ごみ問題の解決に取り組む約400の団体・個人の賛同により2003年10月に設立したNPO団体です。設立時より、容器包装リサイクル法を見直す審議会に参加するなど様々な提言をして参りましたが、近年では海洋汚染が懸念されているマイクロプラスチック問題の普及啓発にも取り組んでおります。

こうしたなか、「御社が、ペットボトル入りのノンアルコールビール“ドライゼロスパーク”を7月3日に発売する」との報道にびっくりしております。ごみ問題にかかわる市民にとってはビールびんに格別な思いがあり、ノンアルコールであるとはいえ、ビールと同じ意味を持つと考えています。しかも、プレスリリースによれば、「ペットボトル容器のため、持ち運びも容易で、利便性が高く、アウトドアや外出先をはじめ、幅広いシーンで飲用されることが想定され・・・(略)・・・引き続きサービスエリア、スポーツ施設などの幅広い施設で、サンプリングや試飲会を実施します」とあります。

つきましては、ご多用中、誠に恐縮ですが、下記の質問をさせて頂きたく、6月末までにご回答いただけますよう宜しくお願いいたします。

尚、本質問書をお送りしたことと、御社からご回答いただいた内容につきましては、WEBサイトで公開させて頂きますので予めご了承下さい。また、たいへんお手数ですが、本質問書を受領した旨のご返信につきましても、ご一報いただけますよう重ねてお願い申し上げます。

早々

記

1. 【散乱ごみ問題について】

PETボトルリサイクル推進協議会によるリサイクル率の目標は85%ですが、2016年度の実績は83.9%で、未回収量は9.6万トンでした。1本25gの500mlとして計算すると約38億本になります。もし、この内の数%が散乱ごみになったとしたら、とてつもない本数になります。

世界的にもクローズアップされているペットボトルの散乱ごみ問題について、御社ではどうお考えですか。

2. 【発生抑制について】

2018年3月、イギリスでは、リサイクル率を向上させ、海洋を汚染する廃棄物削減のため、プラスチックボトルなどの使い捨て飲料容器にデポジット制度を導入することとしました。また、サーキュラー・エコノミーに取り組むEUでは、2018年5月、「ストローなど使い捨てプラスチック製品を禁止すると共に、2025年までにプラスチックボトルの9割回収を目指すことが提起された」と報道されています。

世界は、確実にプラスチックのリデュース（発生抑制）に舵を切っています。このような世界の動きについてどうお考えですか。

3. 【数値目標について】

2018年1月19日、ザ コカ・コーラ カンパニーが廃棄物ゼロ社会の実現を目指すグローバルプランを発表し、その中で「2030年までに、製品に使用するすべてのボトルと缶の回収・リサイクルを推進する目標を設定」するとして、同社の容器の数量100%相当分を回収・リサイクルするという目標を掲げました。

これについての御社のご見解、および御社における容器関連の目標がございましたらお聞かせ下さい。

4. 【マイクロプラスチック対策について】

この度の販売は、8月末までの期間限定と報道されています。奇しくも、2009年に制定された「美しく豊かな自然を保護するための海岸における良好な景観及び環境の保全に係る海岸漂着物等の処理等の推進に関する法律」（海岸漂着物処理推進法）が、マイクロプラスチック対策や3Rの推進が盛り込まれて、今国会で改正される運びです。

このような流れを踏まえれば、ペットボトル利用事業者は責任をもって空容器を回収することが求められており、販売時にデポジットを適用すべきかと思いますが、いかがでしょうか。

以上

どうぞよろしく願いいたします。

容器包装の3Rを進める全国ネットワーク事務局
〒102-0082 東京都千代田区一番町9-7 一番町村上ビル6F
Tel : 03-3234-3844 Fax : 03-3263-9463 Email : reuse@citizens-i.org
URL : <http://www.citizens-i.org/gomi0/>